



平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月2日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 丸栄

コード番号 8245 URL <http://www.maruei.ne.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 京極 修二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長 (氏名) 渡邊 克哉

TEL 052-264-1211

四半期報告書提出予定日 平成25年7月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第1四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	6,159	△3.1	104	54.7	102	520.4	60	—
25年2月期第1四半期	6,355	△2.6	67	△36.5	16	△75.4	1	—

(注) 包括利益 26年2月期第1四半期 64百万円 (—%) 25年2月期第1四半期 △0百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第1四半期	0.47	—
25年2月期第1四半期	0.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年2月期第1四半期	46,680		20,253		43.4
25年2月期	46,901		20,188		43.0

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 20,253百万円 25年2月期 20,188百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年2月期	—				
26年2月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,700	0.4	200	87.6	120	219.0	30	—	0.23
通期	26,200	0.4	450	70.3	270	183.6	110	—	0.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期1Q	130,368,887 株	25年2月期	130,368,887 株
② 期末自己株式数	26年2月期1Q	488,162 株	25年2月期	486,597 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期1Q	129,881,080 株	25年2月期1Q	129,887,631 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新政権による異次元金融緩和などを受け、経済成長への期待感や、円安により輸出関連企業を中心に収益が改善するなど、次第に景気回復の兆しがみえつつあります。一方、個人消費につきましては、依然消費者の購買姿勢は慎重であり、回復傾向を実感するには至っておりません。

このような環境の中、当社グループの主たる事業分野であります百貨店業界におきましては、株価の上昇に伴い、高額商材が持ち直しつつあるものの、主力の衣料品につきましては、天候に左右されるなど、不安定な推移が続いております。

こうした状況下、当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、61億5千9百万円（前年同期比96.9%）となり、営業利益は1億4百万円（前年同期比154.7%）、経常利益は1億2百万円（前年同期比620.4%）の減収増益となりました。また、特別損失として、固定資産除却損3千9百万円を計上いたしました結果、当第1四半期連結累計期間の四半期純利益は6千万円（前年同期は四半期純利益1百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

〔百貨店業〕

百貨店業におきましては、新ショップの導入や、人気ショップの拡大によるヤング・ニューキャリアゾーンの再構築に積極的に取り組んでまいりました。また、新企画の物産展の開催や会社設立70周年を記念したイベントを実施するとともに、ご好評いただいております屋上ビアガーデンを早期から開催するなど集客力の強化に努めてまいりましたが、主力の衣料品の不振などにより、百貨店業の売上高は54億7千7百万円（前年同期比97.2%）となりました。しかしながら利益面につきましては、徹底した経費管理と節減に努めた結果、営業利益4千6百万円（前年同期は営業損失1百万円）となりました。

〔不動産賃貸業〕

不動産賃貸業におきましては、長引く不動産市況の低迷の中、空室率の改善に取り組みましたが、売上高は4億2千9百万円（前年同期比93.1%）、営業利益は1億5千2百万円（前年同期比83.7%）となりました。

〔その他〕

その他の事業におきましては、運送業、清掃業及び百貨店店舗内において友の会事業を運営しており、売上高は2億5千2百万円（前年同期比97.5%）、営業損失は3百万円（前年同期は営業損失1千1百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億2千1百万円減少し、466億8千万円となりました。これは流動資産が9千3百万円増加し、固定資産が3億1千2百万円減少したことなどによります。流動資産の増加については、現金及び預金が1億1千6百万円増加したことなどにより、固定資産の減少については、長期貸付金が3億2千6百万円減少したことなどによります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億8千6百万円減少し、264億2千6百万円となりました。これは流動負債が9億4千8百万円減少し、固定負債が6億6千2百万円増加したことによります。流動負債の減少については、短期借入金が9億円減少したことなどにより、固定負債の増加については、長期借入金が7億8百万円増加したことなどによります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6千4百万円増加し、202億5千3百万円となりました。これは、四半期純利益6千万円により、利益剰余金が増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想に関しましては、平成25年4月11日に公表いたしました「平成25年2月期決算短信」より変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,276	1,392
受取手形及び売掛金	560	495
商品	424	441
その他	807	832
貸倒引当金	△145	△145
流動資産合計	2,922	3,016
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,734	8,665
土地	30,433	30,433
その他(純額)	266	316
有形固定資産合計	39,435	39,415
無形固定資産		
のれん	1,342	1,321
その他	60	92
無形固定資産合計	1,402	1,413
投資その他の資産		
投資有価証券	2,428	2,443
その他	687	369
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,115	2,812
固定資産合計	43,954	43,641
繰延資産	24	22
資産合計	46,901	46,680
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,736	1,849
短期借入金	1,700	800
1年内返済予定の長期借入金	3,867	3,715
1年内償還予定の社債	470	470
未使用商品券等引当金	311	306
その他の引当金	52	63
その他	2,844	2,828
流動負債合計	10,982	10,033
固定負債		
社債	715	620
長期借入金	7,684	8,393
再評価に係る繰延税金負債	3,998	3,998
退職給付引当金	316	306
その他	3,015	3,074
固定負債合計	15,730	16,392
負債合計	26,712	26,426

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,937	9,937
資本剰余金	2,290	2,290
利益剰余金	727	787
自己株式	△107	△107
株主資本合計	12,847	12,908
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12	16
土地再評価差額金	7,328	7,328
その他の包括利益累計額合計	7,341	7,345
純資産合計	20,188	20,253
負債純資産合計	46,901	46,680

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
売上高	6,355	6,159
売上原価	5,033	4,887
売上総利益	1,322	1,271
販売費及び一般管理費	1,254	1,167
営業利益	67	104
営業外収益		
受取利息	3	1
持分法による投資利益	14	14
売場改装協力金	19	64
その他	6	5
営業外収益合計	45	86
営業外費用		
支払利息	67	61
その他	28	26
営業外費用合計	95	87
経常利益	16	102
特別利益		
投資有価証券売却益	2	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
固定資産除却損	14	39
特別損失合計	14	39
税金等調整前四半期純利益	3	62
法人税等	2	2
少数株主損益調整前四半期純利益	1	60
四半期純利益	1	60

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1	60
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	4
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△1	4
四半期包括利益	△0	64
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△0	64
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	百貨店業	不動産 賃貸業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,635	461	6,097	258	6,355	—	6,355
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	40	41	189	231	△231	—
計	5,636	501	6,138	448	6,586	△231	6,355
セグメント利益又は損失(△)	△1	182	180	△11	169	△102	67

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、清掃業及び友の会事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△102百万円には、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△103百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門における費用等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	百貨店業	不動産 賃貸業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,477	429	5,906	252	6,159	—	6,159
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	39	40	237	278	△278	—
計	5,478	468	5,947	489	6,437	△278	6,159
セグメント利益又は損失(△)	46	152	199	△3	196	△92	104

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、清掃業及び友の会事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△92百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△92百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門における費用等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。